

令和4年度 転倒災害防止のための説明会

神奈川労働局では、令和4年6月15日、22日、28日に横浜、平塚、相模原の合計3か所で「転倒災害防止のための説明会」を開催しました。

この説明会は、近年の労働災害の増加を踏まえ、多数を占める「転倒」災害を減少させる目的で開催したものです。



6月15日開催 神奈川公会堂

神奈川労働局から

冒頭、神奈川労働局（労働基準部長 星野健一）から、近年、労働災害が増加し、転倒災害が全体の約4分の1を占めていることを説明し、7月の全国安全週間を踏まえ、各事業場での安全衛生管理の促進を要請しました。



神奈川労働局 安全課担当官

続いて当局担当官から、転倒災害の発生状況を説明し、年齢が高くなるにつれ転倒災害が増えていること、50歳以上の女性労働者で顕著であることのほか、腰痛も増えていることなどを説明して危機意識を共有を図りました。



6月22日開催
ひらしん平塚文化芸術ホール
神奈川労働局 労働基準部長 星野健一



神奈川労働局 健康課担当官

～ 事例紹介 神奈川公会堂 ～ 住友電工デバイス・イノベーション(株)



神奈川公会堂では、住友電工デバイス・イノベーション(株)から 他社の活動を取り入れた「ポケテナシ運動」(ポケットに手を入れない、**ケ**イタイを使用しながら歩かない、階段は**テ**すりを持つ、**シ**差呼称の各頭文字に由来)や体力チェックなどの活動報告がありました。



6月15日

住友電工デバイス・イノベーション(株)

発表者：佐々木丈夫 氏



発表資料：<https://jsite.mhlw.go.jp/kanagawa-roudoukyoku/content/contents/001198177.pdf>

～ 事例紹介 ひらしん平塚文化芸術ホール ～ (株)不二家 平塚工場



ひらしん平塚文化芸術ホールでは (株)不二家平塚工場から、声掛け運動など安全意識の向上・定着のための活動や手すり、滑り止めなどの設備の見直し、バランス体操など身体機能を向上させる活動報告がありました。



6月22日

(株)不二家 平塚工場

発表者：船津大輝 氏



発表資料：<https://jsite.mhlw.go.jp/kanagawa-roudoukyoku/content/contents/001198178.pdf>

～ 事例紹介 相模女子大学グリーンホール ～ AGC(株) 相模工場



相模女子大学グリーンホールでは、AGC(株)相模工場から、作業する「場所」と「人」に着目した設備の安全対策や身体機能を向上させるための「つまづき防止体操」の活動報告がありました。この体操は、本年5月からスタートしたもので、今後、その効果を確認したいとのことでした。



6月28日

AGC(株) 相模工場

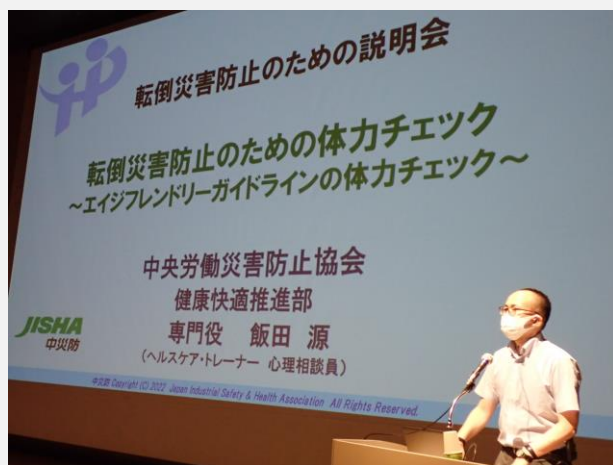
発表者：加藤哲也 氏



発表資料：<https://jsite.mhlw.go.jp/kanagawa-roudoukyoku/content/contents/001198179.pdf>

中央労働災害防止協会 ～体力チェックの実施方法体験～

各会場では、特別講演で中央労働災害防止協会（専門役 飯田源 氏）から、加齢による身体機能の低下で生じる転倒リスクのほか、高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン（エイジフレンドリーガイドライン）の体力チェックについて、同協会が作成した「転びの予防体力チェックシート」を活用し、実際に参加者が基本動作を体験しながらその実施方法を学びました。



中央労働災害防止協会の飯田源氏の説明のもと、「エイジフレンドリーガイドラインの体力チェック」に関して、実際に参加者が基本動作を体験しました。

説明のあった各企業の発表資料については、当局ＨＰに搭載しました（各社事例紹介の末尾参照）。また、当局では、転倒防止に向けた取組事例を広く収集して、ＨＰで公表していきます。事業者の皆様におかれましては、各企業の取組を参考にし、より一層の労働災害防止活動にご協力をお願いいたします。

本件問い合わせ先

神奈川労働局労働基準部
電話：045-211-7352（安全課）
電話：045-211-7353（健康課）